

第1期生（2021年3月卒業）の キャリア形成の状況に関する調査

2022年1月

大阪歯科大学医療保健学部キャリア支援委員会

はじめに

大阪歯科大学医療保健学部は 2017 年 4 月に開設されました。前身の大阪歯科衛生士専門学校及び大阪歯科大学歯科技工士専門学校からの伝統を受け継ぐとともに、歯科医療技術者を養成する 4 年制大学として、将来歯科医療業界を牽引する人材の養成を行っています。

医療保健学部キャリアセンターは、学部開設と同時に設置されました。学生が 4 年間を通して自分自身のキャリア形成に真摯に向き合い、自律的に人生を歩んでいけるようになるべく、入学以後さまざまな事業を展開してまいりました。

当センター開設からのキャリア教育およびキャリア支援について検証し、今後の改善に活かしていくために、第 1 期生が社会に出て半年になる 2021 年 10 月に卒業生の勤務状況やキャリア形成の状況に関する調査を実施しました。いただいたご意見は大変温かく、こちらがホッと胸をなでおろしたくなるものも多数ございましたが、反面非常に厳しく、頭を抱えてしまったものもございました。しかし、このように率直なご意見をいただけることが非常にありがたく、本学部にご期待をいただいていることの現れだと感じております。いただきました貴重なご意見をもとに、今後本学の卒業生が歯科医療業界の中心的な存在になるべく、キャリア教育およびキャリア支援を進めてまいり所存です。

末筆ですが、今回大変お忙しい中率直な、かつ価値あるご意見を賜りました事業所のみなさまに、衷心より御礼を申し上げます。

2022 年 1 月

大阪歯科大学医療保健学部キャリアセンター

調査概要

1. 調査の目的

2017年の本学部開設以後4年間のキャリア教育およびキャリア支援について検証し、改善に活かしていくために、2021年3月に本学部を卒業した第1期生、また1期生の就職先を対象に、1期生の現在の勤務状況やキャリア形成の状況に関する調査を実施した。

2. 調査対象者および調査対象事業所数、回答者数および回答事業所数

<卒業生>

- ・対象者：2021年3月に本学部を卒業した46名
- ・回答者：25名（回答率54.3%）

<就職先>

- ・対象事業所：2021年3月に本学部の卒業生が就職した38カ所
- ・回答者事業所：25事業所（31名分）（回答率65.8%）

3. 調査時期

2021年9月20日から2021年11月30日まで

4. 調査方法

インターネット上の調査フォームへの入力および送信（Google Forms）

5. 回答があった卒業生の勤務先内訳および回答をいただいた事業所の内訳

<卒業生>

- ・病院：17事業所
- ・歯科診療所：2事業所
- ・民間企業：5事業所
- ・地方自治体：1箇所

<就職先>

- ・病院：13事業所
- ・歯科診療所：5事業所
- ・民間企業：6事業所
- ・自治体：1自治体

6. 在職者、休職者、退職者数(2021年3月卒業生)

調査にご協力いただいた25事業所、28部門においては31名全員が在職し、休職お

よび退職者はいなかった。一方、卒業生からの回答では、25 名中 1 名が休職中であった。

7. 勤務先の満足度および問題点（卒業生）

25 名中「満足」が 12 名、「少し満足」が 7 名と半数以上を占めたものの、「やや不満」が 6 名存在した。「やや不満」の理由として、賃金を 6 名、教育研修制度および指導者の退職を 5 名が挙げた。

8. 卒業生の勤務態度（事業所）

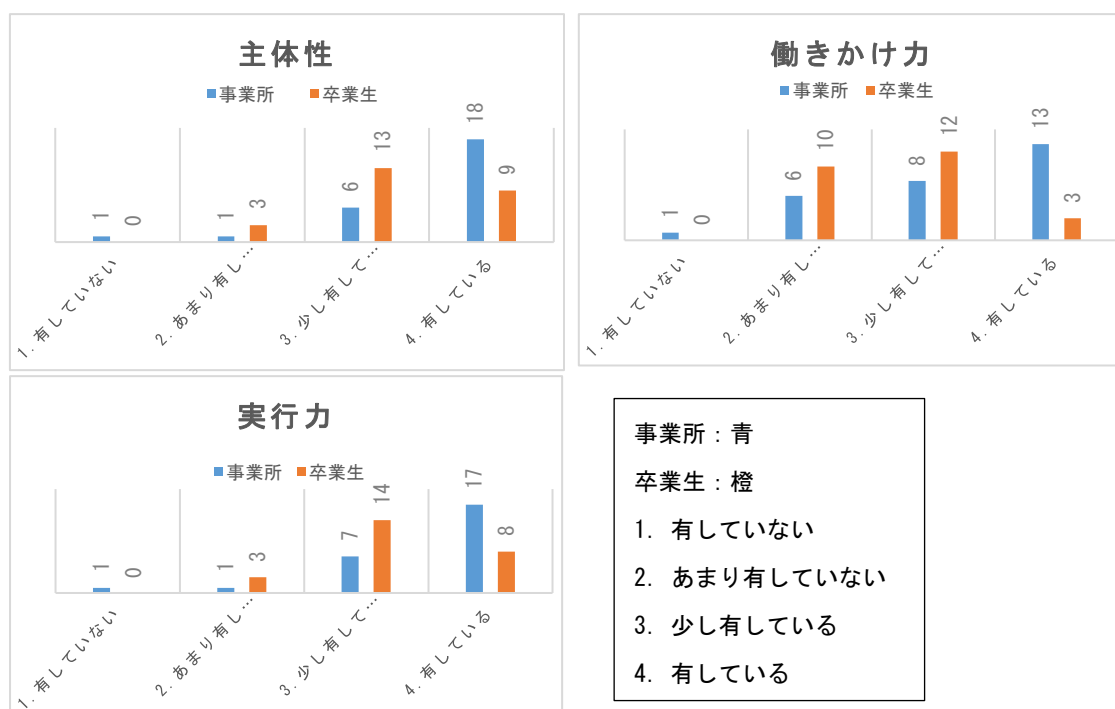
在職者 31 名中「1. よい」が 27 名であった反面、「3. よくない」が 1 名存在した。「3. よくない」理由として、コミュニケーションおよび仕事への積極性等が挙げられた。

9. 社会人基礎力

a. 前に踏み出す力（アクション）

卒業生（橙）については、「物事に進んで取り組む力（主体性）」、「目的を設定して確実に行動したりする力（実行力）」を「4. 有している」、または「3. 少し有している」と回答した者が大半を占めた。一方、「他人に働きかけて巻き込む力（働きかけ力）」については、「2. あまり有していない」と回答した卒業生が半数近くに上った。

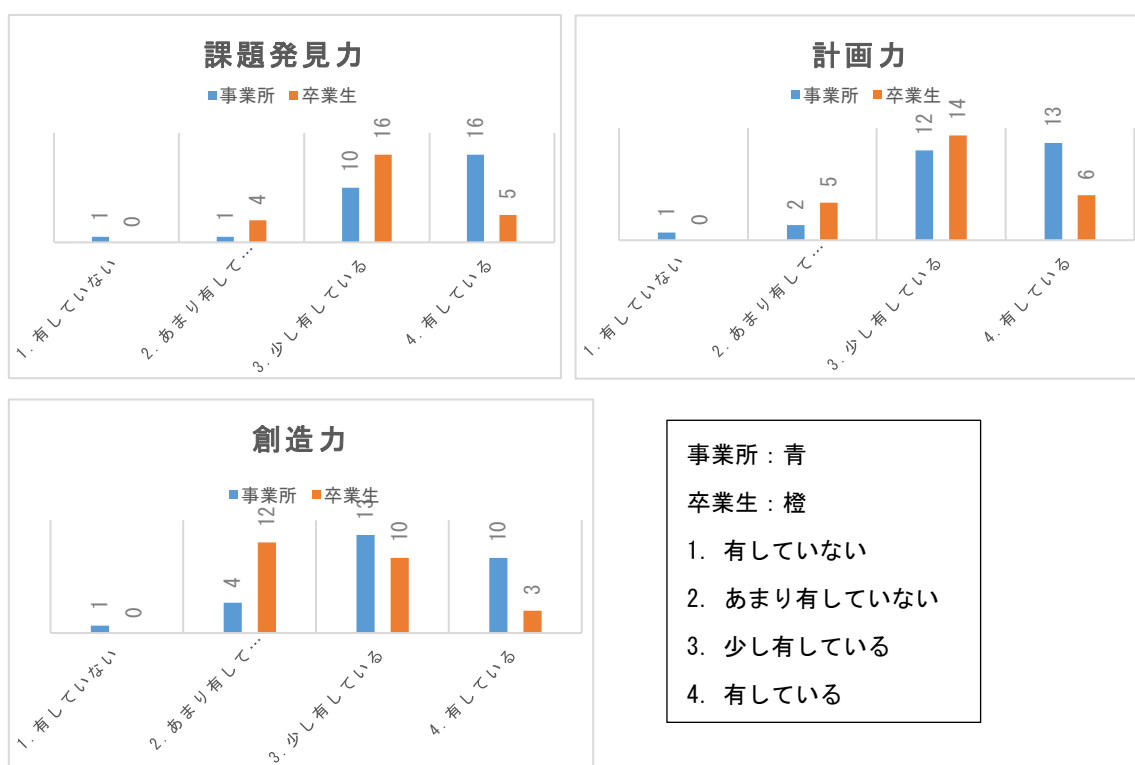
事業所（青）については、「物事に進んで取り組んだり（主体性）、目的を設定して確実に行動したりする力（実行力）」を卒業生が「4. 有している」と回答した所が多い反面、「他人に働きかけて巻き込む力（働きかけ力）」については他の 2 項目より「1. 有していない」、「2. あまり有していない」と回答した所が多かった。



b. 考え抜く力（シンキング）

卒業生（橙）については、「課題を発見し、目的や課題を明らかにすることができる力（課題発見力）」、「課題の解決に向けたプロセスを明らかにして準備する力（計画力）」を「4. 有している」、または「3. 少し有している」と回答した者が3分の2以上を占めた。一方、「新しい価値を生み出したりする力（創造力）」については、「2. あまり有していない」、「3. 少し有している」の順に回答した者が多かった。

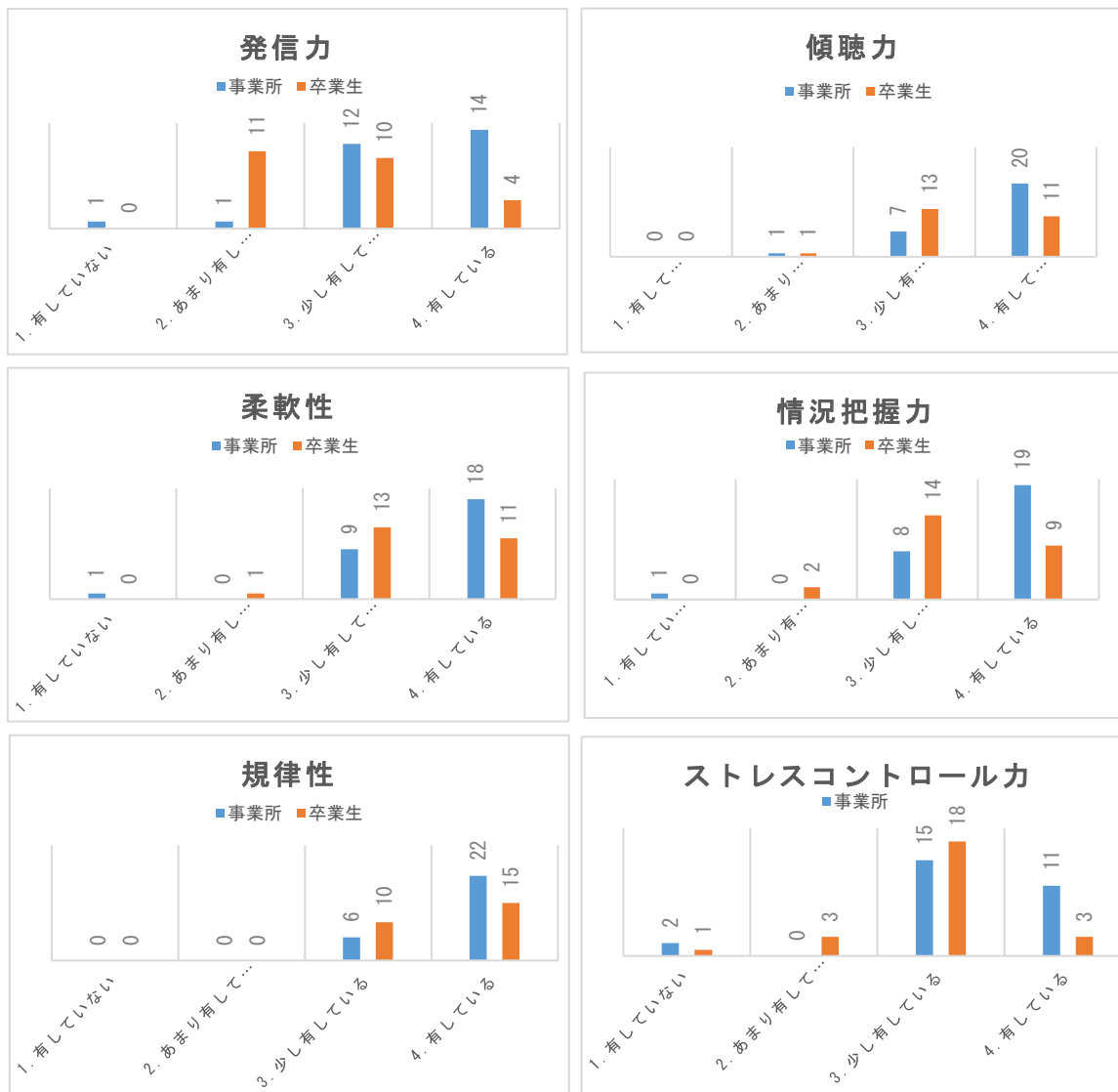
事業所（青）については、「課題を発見し、目的や課題を明らかにすることができる力（課題発見力）」を卒業生が「4. 有している」と回答した所が多い反面、「課題の解決に向けたプロセスを明らかにして準備したり（計画力）、新しい価値を生み出したりする力（創造力）」については「3. 少し有している」が、「4. 有している」より多かった。



c. チームで働く力（チームワーク）

卒業生（橙）については、「ストレスの発生源に対応する力（ストレスコントロール力）」について、「1. 有していない」と回答した者が1名、「2. あまり有していない」と回答した卒業生が3名存在した。他の項目では「1. 有していない」と回答した卒業生がゼロであったため、ひときわ目立つ結果になった。また、「自分の意見をわかりやすく伝える力（発信力）」についても、「2. あまり有していない」、「3. 少し有している」の順に回答した卒業生が多かった。「自分の意見をわかりやすく伝える力（発信力）」、「社会のルールや人との約束を守る力（規律性）」以外の項目では、「3. 少し有している」と回答した卒業生が最多であった。

事業所（青）については、「社会のルールや人との約束を守る力（規律性）」は、「4. 有している」、「3. 少し有している」のみ回答があった。「ストレスの発生源に対応する力（ストレスコントロール力）」では「3. 少し有している」と回答した所が最多であったが、他の項目では「4. 有している」が最多であった。特に「相手の意見を丁寧に聴く力（傾聴力）」、「自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力（状況把握力）」、「社会のルールや人との約束を守る力（規律性）」は「4. 有している」が3分の2を超えた。



10. 本学在学中にあればよかったと思う教育（卒業生、原文ママ）

- ・石膏流しや電子カルテの見方の練習
- ・技工実習の後に知識の座学よりも、座学をやってから実習をやった方が学んだ知識を使いながら作ることができるので身に付きやすいと感じました。在学中は実習のあと座学の順が多かったと思います。

- ・ 社会人としてのマナー講座(個人で行えば良いので時間があれば)
- ・ お金のやりくりに関する勉強(保険、積み立て等)、PCスキル、メールや電話等で活用できる敬語表現など
- ・ 保険点数の算定方法
- ・ 国試の勉強は勿論の事、臨床での時短テクニックなどを学んでいれば良かった。
- ・ 口腔と全身疾患の関連性
- ・ マナー

11. 本学卒業生および本学の教育に対して望むこと(事業所、原文ママ)

<卒業生に対して望むこと>

- ・ 周囲と積極的に関わりながら物事を遂行していくこと
- ・ 知識、スキルに対する貪欲な姿勢
- ・ 素直さと明るさ、あいさつ・返事のできる人物かつ物事をまっすぐに考えることのできる人物です
- ・ 周囲の意見に合わせながらも、自分の意見も持っている協調性
- ・ 管理職 教育職としての技量を身につける
- ・ 行動力、主体性、自己研鑽、粘り強さ、チームワーク、向上心
- ・ 自発的に医療知識の習得を継続して行うこと
- ・ 何事も積極的に学ぶ姿勢、空気感を読み得意先とのコミュニケーション力
- ・ まだ1年目ではありますが、今後は大学で学んだことを活かして、学会発表など学術的に活躍してくれることも期待しています。
- ・ 長く勤務を続けて欲しい
- ・ 社会の厳しさに怯む事なく明るい未来を信じて頑張ってもらいたいと思います。
- ・ 積極性や向上心
- ・ アナログ技工からデジタル技工へと大きく移行していく現状の中で、次世代のリーダーとして活躍してもらいたい
- ・ 大卒のキャリアを活かした幅広い対応力
- ・ 社会人としてのコミュニケーション力です
- ・ 素直さ 熱心さ、考える力等

<教育に対して望むこと>

- ・ 今後も素晴らしい人材を輩出していただきたい
- ・ どんな状況であろうと、若いうちはとにかく明るくかつ元気にいていただくと職場というものは活気が出ます。そのような若者を輩出していただきたいと思えます。
- ・ 問題なし

- ・管理職、教育職を目指す人材育成
- ・専門知識、スキル
- ・プレゼンテーション能力向上指導
- ・正しい知識を、教える
- ・貴校から入社いただいた社員はとても明るく優秀です。今後も期待しております。
- ・上記とも関連しますが、臨床ではない学術的な活動の目的、意義、必要性などを、在学中から教えていただくことで、(専門学校ではない)大学卒ならではの活躍ができる人材が出来るのではないかと考えております。
- ・衛生士としてだけでなく、社会人としての一般的教養
- ・従来の技工についてはもちろんですが、インプラントやデジタル技工といった今拡大している、これから拡大していく技工の知識や技術の習得
- ・大卒のアドバンテージを有する歯科技工士の育成
- ・カリキュラムで実習時間が少ないのは分かりますが、基本となるカービング力は、もう少し在学中に身につける様にしていきたい。
- ・自主的に課題を見つけ、それを解決するにはどうすればいいかを考えられる力を身につけて頂きたいです
- ・考える力、想像力が豊かな人を育む土台になっていただければと思います。

総括

- ・社会人基礎力の12項目に関する回答傾向は、卒業生と事業所側はほぼ同様であった。
- ・卒業生の回答の大半は「2. あまり有していない」、「3. 少し有している」であった。一方、事業所側は「4. 有している」と回答したところが多かったことから、卒業生は遠慮した回答をしがちである傾向が認められる。また、自己評価が低く、自分の持ち味を発見できていない、何をもって自分を評価していいかわからないという可能性もあることが示唆される。
- ・卒業生は在学中にマナーや保険点数の算定など、実際勤務しているうえで自分に不足している、または現実に直面していることについて教育を受けたかたと答えている。一方、事業所は大学卒業者として、社会人としての教養や考え方、課題解決力、業界のリーダーとなるための知識や技術、プレゼンテーション能力、学術的な思考などに期待していることが明らかになった。
- ・社会人や専門職業人としての意識が不十分と考えられる卒業生に対する事業所の期待が大きいことが明らかになった。入職半年での調査という点も影響していると考えられるが、在学中から専門知識や技術のみならず、将来業界を牽引する人材であることを意識できるような教育も必要であることが示唆される。